

平成29年度 基本評価調査

施策名	道産食品の販路拡大	所管部局	経済部	作成責任者	経済部食産業振興監 田辺利信	施策コード	05 - 02
		照会先	食関連産業室マーケティングG (内線26-817)	関係課	経済部食関連産業室		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
		2	経済・産業	(2)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	B	地域資源を活かした食関連産業の振興	商談会等における国内成約件数
北海道創生総合戦略	A3212,A3214		北海道強靱化計画	B4221	新・北海道ビジョン	C00908,C01202,C02204,C03102,C05804、C08905		
特定分野別計画等								

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・本道の食品工業は、平成26年の製造品出荷額が22,098億円(全国シェア6.2%)で全国2位。製造業全体の33.1%を占め、地域の経済や雇用を支える重要な産業として発展。素材提供型の色合いが強く、付加価値額は5,748億円で全国6位、付加価値率は26.0%で全国の32.1%と比較して6.1ポイント低い。国内の食市場は、人口減少や高齢化の進行などにより縮小傾向にあるとともに、食品の安全性・環境への関心の高まりや激しい市場競争、地域間競争、TPP協定交渉の合意などにより、その取り巻く環境は大きく変化。</p> <p>・マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、今後、経済発展や人口増加などにより市場拡大が見込まれるアジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要。</p>				施策目標	<p>・民間と協働した付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、道内外に向けた道産食品の販路拡大を行う。</p>			
	政策体系	役割等		政策体系		役割等		施策の予算額	
施策の推進体制 (役割・取組等)	2(2)B	〔道〕				H27	61,443		
		〔国〕				H28	60,647		
		〔民間〕				H29	63,684		

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	2(2)B	<ul style="list-style-type: none"> ◎包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップにより販路拡大事業を実施する。 ◎首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援する。 ◎道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助する。 ◎道産品展示コーナーを活用した道産品の募集、展示を実施する。 ◎外国人旅行者対応のためのマーケティング講座やテスト販売を実施する。 		

<前年度意見への対応>

前年度付加意見 (二次政策評価における付加意見の内容)		付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点)	

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取り組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
2(2)B	首都圏における道産品の展示販売や斡旋・企業のマーケティング支援などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援した。平成28年度のどさんこプラザ有楽町店の売上額は971百万円で、前年度比△3.1%と前年並みとなった。	A3212、A3214	B4221	C01202、C02204、C03102、C05804、C08905	
2(2)B	道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助金の交付決定を行った。平成29年6月に開催した北海道産品取引商談会(札幌会場)には、353社が出展、2,036名のバイヤーが参加し、商談の機会が創出された。	A3212、A3214	B4221	C01202、C02204、C03102、C05804	
2(2)B	平成28年5月、外国人居住者に向けたテストマーケティング等を行うため、倶知安町内に北海道どさんこプラザ札幌店のサテライト店を出店した。			C00908	
2(2)B	包括連携協定に基づき「楽天市場」内に開設している「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、現在どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図ることで、道産品の更なる販路拡大を推進した。平成28年度の売上高は15,585千円となった。	A3212	B4221	C01202	
2(2)B	女性の視点を活かした商品開発・販路拡大を促進するため、首都圏等で活躍するバイヤーや一流シェフ等を「食のサポーター」に、道内で活躍するバイヤー等を「食の磨き上げ職人」に委嘱するにあたって、女性を登用し道内事業者への指導・助言を行った。	A3622			

(2) その他の取組の成果等

国等提案・要望状況		施策に関する道民ニーズ	商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。 来場者(バイヤー)数については、年々増加傾向にあるが、一部の出展者からは来場者数が少ないなどの意見があったことから、出展者の協力も得ながら案内先を増やし、来場者数を増加させることにより商談機会の拡大に努めた。
-----------	--	-------------	--

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(2)B	保健福祉部や農政部、水産林務部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	N0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉部と連携して、道内の食品関係事業者を対象に、HACCPの専門知識に関する講習会の実施する。また、食中毒情報の共有などを図った。 ・シンガポールでの道産食材PRイベント等の実施にあたり、農政部等の海外販路拡大事業と連携して取組を実施することを検討している。
		N0704	水産林務部水産局水産経営課	
		N0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
		N0501 N0503	経済部食関連産業室	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
包括連携協定を結んでいる企業等との連携により販路拡大事業を実施 ・展示会への出展や商談会・セミナーの開催(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行、北陸銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店を、コープさっぽろ倶知安店内に開設 ・JCBカード利用を対象にしたキャンペーンの賞品に「北のハイグレード食品」を採用 ・「楽天市場」内に「北海道どさんこプラザ楽天市場店」を開設 ・海外への販路拡大支援(伊藤忠)	サッポロビール、コープさっぽろ、ジェーシービー、伊藤忠、楽天、北洋銀行、北海道銀行、北陸銀行	・展示会への出展や商談会・セミナーの開催を予定(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行、北陸銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店を、コープさっぽろ倶知安店内に開設(H28.5)し、外国人居住者に向けたテストマーケティング等を実施 ・JCBカード利用を対象にしたキャンペーンの賞品に「北のハイグレード食品」を採用 ・「楽天市場」内の「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図り、道産品の更なる販路拡大を推進 ・海外への販路拡大支援について検討(伊藤忠)

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37					
商談会等における国内成約件数	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H28	道や団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により、出展企業数、参加バイヤー数が増加しており、これに伴い成約件数も増加している。	
	基準値	3,422	目標値	3,633	最終目標値	4,300	年度	H28	H29	進捗率		
〔指標の説明〕 国内で道や団体等が主催する商談会の開催により成約となった取引件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	3,561	3,633	4,300		
	北海道総合計画		2(2)B	増加	((実績値-基準値)/(目標値-基準値)) × 100		実績値	3,931	-	3,931		
							達成率	366.2%	-	91.4%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名

道産食品の販路拡大

施策コード

05 - 02

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	平成29年度					創生総合戦略	強靱化計画	新・北海道ビジョン	前年度付加意見	付加意見への所管部局の対応(H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費(千円)	うち一般財源	執行体制								フルコスト(千円)	点検事項		方向性
									本庁	出先機関	人工計							付加意見への所管部局の対応(評価時点)	推進事項	
0122	2(2)B	主①	民間企業等との提携・タイアップ事業に関すること	包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップによる販路拡大事業の実施	食関連産業室		0		0.2	0.0	0.2	1,600	○		○				現状維持	
0123	2(2)B	主①	道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)	首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営に関する事務	食関連産業室		43,916	13,158	0.6	0.0	0.6	48,716	○	○	○				現状維持	
0124	2(2)B	主①	貿易物産振興事業費補助金(一社)北海道貿易物産振興会)	道産品の販路拡大に係る各施策を効果・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助	食関連産業室		15,818	15,818	0.4	0.0	0.4	19,018	○		○				縮小	
0125	2(2)B	主①	北海道どさんこプラザに関する事務	テスト販売、マーケティングサポート催事の募集及びマーケティングアドバイザーの派遣に関する事務	食関連産業室		0		0.4	0.0	0.4	3,200	○		○				現状維持	
0126	2(2)B	主①	情報提供に関する事務	道産品展示コーナーを活用した道産品の募集、展示に関する事務。道産資材使用状況調査等に関する事務。中小企業者やバイヤーへの情報提供。	食関連産業室		0		0.1	0.0	0.1	800	○		○				現状維持	
0127	2(2)B	主①	北海道貿易物産振興会に関する事務	総会等への出席及び相談指導事務(北海道貿易物産振興会)	食関連産業室		0		0.1	0.0	0.1	800	○		○				現状維持	
0128	2(2)B	主①	在道都府県協議会に関する事務(総務管理諸費)	総会の出席、情報交換及び負担金交付事務	食関連産業室		80	80	0.1	0.0	0.1	880	○		○				現状維持	

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強靱 化計 画	新・ 北海 道ビ ジョン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費 (千円)	うち 一般財 源	執行体制								フル コスト (千円)	点検事項		方向性
									本庁	出先機関	人工計							付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	推進 事項	
0129	2(2)B	主①	北海道物産展の後援、道産品販売促進キャンペーンに関する事務	百貨店やスーパーが開催する北海道物産展の後援承認及びキャンペーンロゴの使用許可、のぼりの貸与に関する事務	食関連 産業室		0		0.2	0.0	0.2	1,600	○		○				現状維持	
0130	2(2)B	主①	新幹線開業効果に係る外国人旅行者等向け地域の食の魅力発信事業	外国人旅行者対応のためのマーケティング講座やテスト販売を実施	食関連 産業室		3,870	3,870	0.4	0.0	0.4	7,070	○		○				終了	
計						0	63,684	32,926.0	2.5	0.0	2.5	83,684								

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(2)B	1					A・B指標のみ	<商談会等における国内成約件数【A】> ・道や団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により、出展企業数、参加バイヤー数が増加しており、これに伴い成約件数も増加している。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	1						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・道産品の販路拡大に関して、効果的な取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・道産食品の海外販路の拡大に関し、関係部と連携した取組が行われている。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	包括連携協定企業との連携により道産食品の販路拡大に向けた取組が行われている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析 判定(計)	取組の分析 判定	総合評価
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			（関連する計画等）		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	2(2)B	今後も商談会の開催により道内の事業者に商談機会を提供し、道産食品の販路拡大を図る必要がある。	A3212、A3214	B4221	C00908、C01202、C02204、 C03102、C05804、C08905
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	—	02
-----	-----------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対 応
①	<廃止・縮小、見直しを行った取組等> 商談会の開催に必要な造作等の業務内容の見直しを通じ、より効率的な事業の推進を図る。 (貿易物産振興事業費補助金)
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 — 02
-----	-----------	-------	---------

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		0 事業	0 事業	7 事業	1 事業	0 事業	0 事業	1 事業	9 事業	0 事業
反映結果		- 事業	0 事業	7 事業	1 事業	0 事業	0 事業	1 事業	9 事業	

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0122	民間企業等との提携・タイアップ事業に関すること	現状維持	現状維持
0123	道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)	現状維持	現状維持
0124	貿易物産振興事業費補助金((一社)北海道貿易物産振興会)	縮小	縮小
0125	北海道どさんこプラザに関する事務	現状維持	現状維持
0126	情報提供に関する事務	現状維持	現状維持
0127	北海道貿易物産振興会に関する事務	現状維持	現状維持
0128	在道都府県協議会に関する事務(総務管理諸費)	現状維持	現状維持
0129	北海道物産展の後援、道産品販売促進キャンペーンに関する事務	現状維持	現状維持
0130	新幹線開業効果に係る外国人旅行者等向け地域の食の魅力発信事業	終了	終了